

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和元年度第 2 回 B 部会		
事務局 (担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和元年 8 月 30 日(金) 午後 6 時半から午後 8 時 15 分		
開催場所	川西市役所 7 階 大会議室		
出席者	委員	田中晃代(部会長)、釜本孝彦、延命寺陽子、金剛丸朋子、相良雅江、田中真優、中村佳子、堀田大樹、山澤剛、吉尾豊	
	その他		
	事務局	総合政策部副部長、参画協働課長、同課主任 2 名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="margin-left: 40px;">1 開 会</p> <p style="margin-left: 40px;">2 議 事</p> <p style="margin-left: 80px;">B 部会のテーマ</p> <p style="margin-left: 80px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」</p> <p style="margin-left: 40px;">3 閉 会</p>		

18:30～

1 開 会

田中部会長進行。

2 議 事

B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

○田中部会長により進行

- ・ 前回の振り返り
- ・ 委員から東谷コミュニティの取組を紹介

「参加」を促進する

配布、周知、PR 対象を自治会員から全住民へシフト

「プラザ・ひがしたに」の開設(ふれあい喫茶等)

3 大イベントのプログラムに豪華賞品等の抽選券をつける

東谷中学校との連携(トライやる・ウィーク、コミュニティスクール)

「参画」を促進する

組織改革により、地域の主な関係団体をコミュニティに一元化、組織機能を強化

26 年度の地域別計画策定時には地域全体から意見を募集

有償ボランティアの考え方の導入

- ・ 東谷コミュニティの取組をもとに意見交換

(委員から出た意見)

○ 東谷コミュニティについて

- ・ トライやる・ウィークでコミュニティを選んだ生徒の動機は？コミュニティスクールは学校が大変だと聞くが。

希望かどうかはわからないが、将来コミュニティに関わってくれればと思い、今後、積極的に受け入れていきたい。他校はわからないが、東谷中学校は積極的に取り入れた

と聞いた。

- ・ ふれあい喫茶の状況はどうか？

火水金の 10 時から 15 時 30 分の営業で、福祉部会が担当している。お年寄りのお客さんが多いが、福祉部会としても地域の人をよく見れてよい。粗利で年 10 万円くらい

- ・ 福祉部会が担当ということであれば、他の部会は利用しにくいのでは

そういうことはないと思うが、他の部会は働いている人が多く、夕方以降の利用になるのでうまくいっている。

- ・ ふれあい喫茶は最初からうまくいっていたのか。

最初からうまくいっていた。口コミで広まっている。

- ・ 地域の活動の見える化ができているのが良いのでは

- ・ 利用者の男女比はどうか

感覚的には 3 対 7 くらい

- ・ 退職後の男性の引き込みになるのではないか

- ・ とんりが幼稚園であるが、お母さん方はあまりこない。利用してほしいが。

- ・ お酒はあるのか

出していない

○ その他

- ・ けやき坂や日生も地域にあまり集まって食事などをできるところがない。あればよいが地域の集会所で酒を飲むことはよく思わない人もいて、ハードルが高い。

- ・ 地域の人がお茶を飲めるような場所があれば若者も行くか？

はじめは敷居が高い。一人では無理。誘われないといけない。

- ・ 知り合いとなら大学生が行くかという疑問。イメージがわからない。

- ・ 例えば公民館というものの名前？イメージ？それでいかないのか

公共施設は入りにくいかもしれない。

- ・ パレット川西に来ている子どもがいたが、友達をつれてきており、その友達は一人でもくようになった。きっかけや場慣れというものもあると思う。

- ・ トライやる・ウィークなどで場慣れになればよいと思う。
- ・ 子ども会も小学生で終わってしまう。中学生・高校生とつながっておれば、自治会にもつながる可能性がある。
- ・ それでも、お金を払ってもサービスを受けたい人はたくさんいる。サービスする側になる気はない。
- ・ けやき坂ではPTAにお父さん会がある。これは楽しいからしている。PTAも小学校で終わる。途切れずにできればと思うが。
- ・ 宝塚のだんじり保存会は、子どもの時からずっとつながっている。ただ、やはり自営業の人が多く、サラリーマンの人は少ない。
- ・ 何か仕掛けづくりができる人が必要。
- ・ お客さんから企画側に引き込むことでクレームもなくなる。落ち葉プールというものがあるが、お客さんではなく、段ボールの端をもってもらうなど、何か手伝ってもらうだけでクレームがなくなった。
- ・ サービスをする人と受ける人をわけない。
- ・ ここでは、「参加」と「参画」のどちらの話をするのか
 - とりあえず「参加」のほうがいいのでは。ただの「参加」ではなく、「参画」につながる「参加」。落ち葉プールの端っこを持つ人を増やす。巻き込み力が必要
- ・ 自治会などでは、枠ややることが決まっていることが多い。役割のバリエーションも少ない。
 - 人に合った役割、人を中心に考えた方がいい。
 - 失敗してもいいということが大事。プレーパークとあわせて防災訓練のようなものを考えているが、防災器具の使い方がわからなかったなどでもいい。次につなげれば。
- ・ 同じ日に別のイベントを行って、相乗効果をねらうのもよい。

(次回に向けて)

- ・ 進め方は、今回のようにだれかの問題提起について意見交換していく。詳細はLINEでつめていく。

- ・ 中間発表は、部会長から説明。その後の質疑等にはその内容に詳しい人が答える形に。
- ・ 今後の部会について
 - 第3回:10月8日(火)18時半～(場所調整)
 - 第4回:11月19日(火)18時半～(場所調整)

3 閉 会